

進路だより

鶴見養護学校
地域連携グループ進路係
No.5
平成30年9月21日発行

夏休みも終わり、すっかり秋らしくなってきましたね！今年は猛暑やゲリラ豪雨等異常気象が多かったですが、みなさま体調など崩してはいませんか？

今月の進路だよりでは、近隣の事業所で行われた夏祭りの様子や、同窓会、夏休みの時期に実施した研修会等の様子を報告させていただきます！！



イベントの様子

つるみ地域活動ホーム 幹 夏祭り

毎年行われている夏祭り、今年は8月4日（土）に開催されました。今年は猛暑日の影響で少し時間が短縮されましたが、在校生や卒業生などがたくさん集まり、かき氷やフランクフルト、焼きそば、焼き鳥など思い思いの物を食べながらお祭りを楽しんでいました！！



鶴見区障害者地域活動ホーム もとみや 納涼祭

8月31日（金）に地域活動ホームもとみやの納涼祭に行ってきました。施設内特設スペースでの太鼓あり歌あり踊りあり。賑やかな音楽を聴きながら格安の餃子やカレーなどを購入して楽しく過ごす様子が印象的でした。こうしたお祭りやバザーは地域との交流の場にもなっており、福祉と地域と一緒に楽しい時間を作っていました。是非とも一度ご参加いただければと思います。

NPO 法人げんき 鶴見区障害者地域活動ホーム ふれあい祭り

8月26日（日）NPO 法人げんき 鶴見区障害者地域活動ホーム ふれあいの家にてふれあい祭りが行われました。ふれあいの家は鶴見区内で最初にできた地域活動ホームとして、毎年お祭りやバザー、防災訓練などを行いながら地域とのつながりを大切にしているそうです。開所から毎年行われている夏祭りは、今年度35回目を迎え、夏らしい快晴の中、和太鼓やフラダンス、吹奏楽団の演奏、屋台の出店などとともに大変賑わっていました。



学校アセスメントの様子



本校高等部と分教室の1年生対象に学校アセスメントがありました。総合教育センターの協力のもと、ボールペンの分解・組み立て検査、はさみ検査が行われました。普段とは違った雰囲気ながら各検査に取り組んでいました。この検査でわかったことを、今後の学校での活動に活かしていきたいと思います。

同窓会の様子



7月16日(月)海の日に本校食堂にて同窓会が行われました。今回の参加者は70名でした。今年は新たに本校35期生、分教室10期生が同窓生として加わりました。そして今年度は役員選挙を行い、役員が決まりました。

ドリンクバー形式でジュースを飲んだり、お菓子をつまんだりしながら、新同窓生の自己紹介を聞きました。わきあいあいとした歓談の後、終盤には毎度のカラオケタイム。AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」を踊りながら、会場も盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。

夏季公開研修会の様子



7月27日に学校で行った夏季公開研修会についてご報告いたします！

福祉編として川崎市わーくす大師から施設長の柿嶋様、企業編としてNPO法人雇用部会の小野口様に講師を務めて頂き、それぞれの視点から「安心していきっていくためのキャリア教育」についてのお話をいただきました。

福祉編では、できないことを人に頼むことができることが真に自立した人といえるのではないかとメッセージを柿嶋様からいただきました。企業編では、学校や家庭でつけて欲しい力、社会人として生きていくためにどういう力が必要なのかをお話いただき、たくさんのお言葉のお土産をいただきました。

職業相談会の様子



8月1日(水)、ハローワーク川崎にて職業相談会を実施しました。就労を希望する高等部3年生の生徒とその保護者が参加しました。ハローワークの職員から、就労に向けて必要な力や心構えなどについて講義を受けた後、実際に一人ひとり求人票検索機を使用し、自分の興味のある求人票をプリントアウトする練習もしました。また、相談窓口では職員の方から自分が今まで実習をした企業での話や、なりたい将来像、希望の職種や勤務形態などについての聞き取りがあり、みなさん緊張しつつも「将来はグループホームに住んで、自立したいです」「のんびり働きたいので週3日くらいが良いです」といった意見から、「時給3000円を希望しています」「年収は850万円、少なくとも欲しいです！」など、思い思いの気持ちを正直に答えていた姿が印象的でした。

進路のつぶやき

「できる」について

高等部の後期現場実習が10月から本格的に始まります。打合せや面接に伺うと、先方から「〇〇はできますか？」と聞かれることがよくあります。〇〇に入る言葉については、「着替え」「トイレ」「自力通勤・通所」「買い物」「意思表示」などなど…。そんなとき、進路担当は「学校では言葉かけをすることができます」「めくり式の手順書を用意してそれを見ながら取り組んでいます」など、学校での様子や取り組み、支援方法やその時の周りの環境など、担任の先生と情報共有したことを先方にお伝えします。

支援をしてくれる方がいた方が、快適に過ごしやすい子どもたちが多いと思います。どんな助けがあると一人で取り組めるのか、「いつでも、どこでも、だれとでもできる」のはどのような状況なのかを適切に進路先に伝えることが、社会人生活をよりよく送るために必要なのではないかと考えます。そのため、ご家庭での様子等を伺い、ご協力をいただくことがあると思いますので、そのときはどうぞよろしく願いいたします。